

HO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1989. 6 . 23号



睦学園講堂に集った仏社会員

第十五回兵庫教区仏教壮年会連盟総会・神戸大会が、四月三十日宗門校の睦学園須磨ノ浦女子高等学校で七百八十六人が集い開催された。

ブロックの理事や会員、

神戸大会で厳しい発言

仏仕連盟

「寺院仏仕をどう増やす」

住職さんは準備の会合、会場の下見、その他広告を頂くのに何度もお店に足を運んだりの世話であった。会場となった睦学園は山田和夫副校長(加古川組西福寺住職)をはじめ何人かの本派寺院の先生方もおられ、当日の照明、マイク担当など色々のお世話を頂いた。十時半からの大会は午前中式典、総会、大正琴(神戸組坊守会)、コーラス(神戸東組ルンビニー合唱団)のアトラクション。

念仏を」と題して、富山大学名誉教授の梅原隆章師が講演、その後仏社会員三人による意見発表があり、三時すぎ散会した。

午前中の総会には次のような厳しい発言があった。

▽教区内には七百七十五もお寺があるのに仏仕を結成しているところが二百五十五か寺しかないのは少なすぎる。このことは前の丹波大会の時にも問題になった。教区連盟は昨年、単位結成を増やすためにどんな活動をしたらか、そして元年度はその為にどんなはたらきかけをするつもりか。

▽大会のスローガンやテーマはたしかにうたってあるが、仏仕の組織としての考えや行動のしかたが明確でない。信心のありかたを仏仕の活動にどう活かしていくか、仏仕活動の中でどう伝道していくか、同朋運動を進めていくか。

役員改選が行われ、理事長に中尾勝氏(氷上西組照徳寺)副理事長に吉本盛雄氏(多可組正願寺)菅野芳二氏(網干組浄泉寺)が新しく選出された。

二年間ご苦労をいただいた藤本毅理事長に小滝教務所長より感謝状と記念品が渡された。



やがて干からびて滅ぶオタマジャクシも激変する人の命も衆悪の万川から功德の潮となつて大海のいのちの一つになる。限りあり短いいのちの質も高められる。これビハラーという◆銭を憎んでの二億円も竹ヤブに捨てた人は置いたという不可解。幼稚園児は百円持ってお菓子を買いに行ったら、店のおばさん「ぼーやもう三円いるのよ」といわれ首をかしげてしぶしぶ帰る。国の銭もうけか◆福祉を通して老人を専門医にお連れしたら「ガンだから手術せよ今なら九十九%助かるよ……」というので説得し手術をしたら一カ月程で死亡した。これ不審別の大病院で検尿したら糖が出た「入院せよ、しないと三月まで持たずに終わるよ……」との医者の方々に腹立ち入院せず、現在まで元気に生かしてもらっている◆物に汚染された世の中であれば、教団人の一人一人が今こそ本當の凡痴に徹して念仏申すべし。今一度味わいましょう非僧非俗。

(前田徳水)

教区だより

6月

1日(木)	布教団総会研修会 天岸浄円師(大阪教区)	10時半
2日(金)	基推委常任・企画会議 広報研修会 大原性宣師(サンテレビ室長)	10時半 3時半
6日(火)~7日(水)	中部・近畿少年指導者研修会	岐阜別院
7日(水)	仏婦常例 貴島信行師(大阪教区)	1時半
7日(水)~8日(木)	組長副組長相談員会議 大峯顕師(奈良)	柏原町
10日(土)	保育総会懇親会	3時
13日(火)	近畿保育連絡協議会	滋賀・八幡別院
14日(水)~16日(金)	別院永代経法要 豊浦順海師(備後教区)	1時半
19日(月)	寺婦ブロック 井上朋義師(加古川組正願寺)朝来組如来寺	

21日(水)	寺婦ブロック西脇正文師(揖電西組超念寺) 姫路中組光源寺
22日(木)	寺婦ブロック 窪田正憲師(揖電西組源徳寺) 神戸別院
23日(金)	サマースクール下見 日生・頭島
24日(土)~25日(日)	青少年国際研修団事前研修会 本山・門徒会館
26日(月)	仏婦ブロック研修(神戸) 神戸別院
27日(火)~28日(水)	第三連区布教使研修会 テーマ「真宗の利益」 南紀白浜
29日(木)	仏婦ブロック研修(丹波) 氷上西組照徳寺
30日(金)	仏婦ブロック研修(但馬) 出石組福成寺
7月4日(火)	仏婦ブロック研修(西播) 姫路西組本徳寺
5日(水)	仏婦ブロック研修(東播・姫路) 姫路西組本徳寺
11日(火)	仏婦ブロック研修(岡山) 岡山南組西念寺
12日(水)	仏婦ブロック研修(阪神) 阪神西組西福寺

日本人にとって 神と仏とは何か

青僧会が総会・研修会

教区青年僧侶の会の平成元年度総会並びに研修会が、五月十一日神戸別院で開催された。

当日は雨のせいが集まりが悪く、予定より遅れて始まった。村上義恭氏(六粟組・西光寺)が議長に選出され、予算及び規約改正の各案が審議され、可決された。

規約改正については、会員から賛助会員への移行時期を明確にしたほか、役員選出方法が改められた。

年会費も現行の二千元から三千元に値上げされた。ひき続き行われた研修会では、講師に、揖電西組超念寺住職、西脇正文師を迎えて、「神と仏」というテーマで講義をいただいた。

西脇師は、神と仏は一体という日本人の一般的常識を前提として、日本人の宗教意識の問題のありかを提起された。

講義要旨は次の通り。

よくいわれるように、日本元年度の総会並びに研修会が、五月十一日神戸別院で開催された。

この現状が示すように、日本仏教は何らかの形において、神仏習合しているのが一般的傾向である。浄土真宗といえども、教団経営の上では、そのことが指摘される。

神仏習合と本地垂迹は、日本人の伝統的宗教観であるが、その前提として、稲作を主体とした農耕民族(アジア季節風帯)の特色である。あらゆる自然の力を神と仰ぐ多神教的風土がある。これらの要因により、神と仏を同一視するあいまいさが問題とならず、土地柄・習俗として定着しているのは、昨日・今日のことである。

また、祖霊崇拝に裏づけられる日本人の霊魂観は、死後四十九日までが死霊(アマリタマ)、三十三~五十回忌までが精霊(仏)、それ以後が祖霊(神)と、同一線上で神仏混合する。その祖霊に対する鎮魂と慰霊こそが、日本人の宗教といえる。

これら習俗のなかの民衆行事であった白山講や太子講が、蓮如忌や報恩講に吸収された歴史や、「木を剪定するのには、バツサリ枝を切ると木が枯れる。今切らなければならぬ枝を、まず切ることが必要」という意味の先哲の言葉に学びながら、土地柄・習俗のなかの神・仏をきっちり区別し、呪術的な外への宗教から、人間存在を内面的に追求する内への宗教へと、仏教の本質を明確にしなければならぬ。

約一時間半の長時間の講義に、西脇師の体調を気づかう様子の会員達だった。

生前のご苦労を偲び

謹しんで敬弔の意を表します。(敬称略)

姫路南組浄照寺住職
三浦 円了 5月20日

「知足院釈円了」 79歳

HO日記

17日 寺族婦人会常任委員会、総会についてと会計監査 19日 長島の愛生、光明両園の宗祖降誕会法要に教務所長出席 22日 寺族婦人会総会を別院で、元年度も開催となった第二期の連続学習会の計画などを中心に事業報告事業計画、決算予算等。

部数拡大めざして

お知らせ 「教区新報は新たに寺院教職者向けとし、一方において門信徒向けの記事挿入、コピー使用できると、多面的利用を考えた。編纂部の努力があった。今後は、発行目的と紙面・部数拡大などの研究が望まれる」——これは四月二十八日行われた基幹運動推進委総会で発表された昭和六十三年度教区基幹運動の反省です。冊子は近日中に各寺に配布されます。よりよい教区新報へご意見を待っています。(事務局)

神戸市を中心として真宗寺院百五十カ寺(うち本願寺派百八カ寺)で組織されている神戸真宗連盟の『第十六回報恩まつり』が、五月十七日神戸市中央区の神戸文化ホールで、二千人以上が参加して盛大に開催された。

連盟が結成されて四十周年記念の催しともなったこの報恩まつりは午後一時連盟副理事長の藤宏隆師(神戸湊組顕証寺)が開式のことばを述べ二百二十三人の聖歌隊がたちならぶ中、緞帳が上がって第一部音楽式典が始まった。

後の講演の中で西元宗助氏も述べておられたが、聖歌隊の讃仏歌は参加者みんな感動のようだった。

式典の中で理事長森本教明師(神戸中組光徳寺)の焼香、表白や五人のご住職前任職への功労者表彰などがあり、副理事長の華廣恵俊師(神戸東組法覚寺)のことばで式典を閉じた。

第二部は「念仏申して立ちあがる」と題しての西元氏の講演があり、三時から井上靖氏の小説を映画化した「敦煌」が上映された。西元宗助氏の講演内容は次の通り。

は、恋人のようなものです。こちらへ来ることに決まっから胸がワクワクし昨日も神戸市内の地図を懐かしくひらいたことです。

さきほどの聖歌隊は本当にすばらしかった、今日の讃仏歌ほど感動したことはない。

「仏様に拝まれていた」

神戸真宗連盟 報恩まつり 西元宗助氏が講演



講演する西元宗助氏

が征韓論で敗れて鹿児島に帰って来て驚き、民衆を味方につけるため認めさせたのである。

その喜びを私の祖父などが「今まで、仏様を拝むことは出来なかった、その間ずーと仏様に拝まれようであった」とその言葉に私は感動しました。

私は学生の時、金子大栄先生、曾我量深先生その他いろいろな人の教えを聞くこ

にはどっかに宗教がいると一中の時に思いました。その後、鹿児島に帰って浄土真宗と会うことになるのです。

皆様はご存じないかもしませんが、鹿児島では明治九年まで浄土真宗は認められなかったのです。明治六年キリスト教が認められたおかげで九年にようやく認められたのです。

「ところで足利浄円先生ご信心がおりですか」と

とが出来、幸せでありました。人生の中で良い先生に会うことは大切であります

が、この先生でなければならぬと言ったことではありません。それはすべてご縁であるからです。

学生のとき、友人といっしょにどの先生が本当の信心をもっているかためしたことがありました。

聞いた、そしたら「ナンマングブ、ナンマングブ……なんにもございませぬが、おかげさまでナンマングブです」と言われた、そのことばに感動しました。

実は、私は神戸におりましたときキリスト教の日曜学校へ行っておりまして、小学校の時、私は日校皆勤でありました。少し前まで新約聖書をほとんど暗記して

ての教区の対応等。午後は教区基推委の副会長、常任、企画委員も加わり協議された。10日「仏婦常任委員会」の総会の議事となる行事報告などについて「基推委」常任・企画会議を別院で。元年度の行事、結集大会について「寺婦連続学習会打ち合わせ」、第一期のアンケート報告や会長会での要望を受けての企画について

11日「姫路中組組巡教下見打ち合わせ」、八日と同様に会所寺院の光源寺で当日の確認、順路を走行する。青年僧侶の会、総会研修会、神と仏について西脇正文師(揖西組超念寺)の講演をうける。12日「仏婦連盟総会を別院で開催、決算予算、事業等。当日は別院の社葬と重なり委員さんにはご迷惑をかけた。12日「13日」仏婦幹部(組正副会長)一泊研修会を中央区熊内町にあるホテル神戸で開催され、六十六人が参加。「仏婦幹部としてのつとめ」と題して小滝教務所長より基調講演や班別に分かれての討議、翌日の歌唱指導、全体討議など幹部としての

HO誌

兵庫教区御同朋総結集大会

◆4月25日「京都本願寺会館で近畿六教区仏婦連盟主催の第三回「恵信尼さま顕彰平和の日の集い」を今年は兵庫の担当で開催。教区からは三百二人、全体で七百六十二人の参加となった。◆25日「西山別院で教区相談員中央研修会、今年度より教区相談員となった安井相談員出席。基幹運動計画とその問題点等についての研修。◆26日「京阪神都市開教会議を大阪津村別院で、元年度の活動計画などを審議。担当プロック理事、仏壮大会の打ち合わせを別院で。◆五月十七日に開催の真宗連盟報恩まつりの聖歌隊の練習を別院本堂で。夕べは私の家まできれいな合唱が聞こえてましたよ」と近所のご門徒さん。◆28日「別院で基推委員会、元年度の教区基幹運動計画について「兵庫教区御同朋総結集大会」と平成二年十一月七日神戸ワールド記念ホールで開催の大会名称が決まる。◆28日「近畿プロック仏青連絡協議会、教区より八人近畿で三十一人出席。

青年期にいかにか法を問うかなどについて西脇修師(揖西組超念寺)より講義を受ける。◆29日「播磨中組願正寺、本堂等修復落成慶讃法要の本山祝辞伝達に教務所長出席。◆7日「別院仏婦常例、講師増井浄見師(赤穂北組浄蓮寺)。◆8日「赤穂南組組巡教下見打ち合わせ、教務所より担当職員ら

創刊にあたって

組長 藤 宏隆

このたび神戸湊組において組報が創刊されますこと、ご同慶の至りに存じます。発刊に至るまでの広報部・組織部に携わる当組役員の方々のご苦勞に対し、心より感謝申し上げます。去る



寺報から

昭和六十年四月教区組画變更により神戸湊組として産声をあげて以来満四年、その間、ご本山・教務所のご指導のもと「御同朋の社会をめざして」の目標を掲げて、組基幹運動推進に取組むため、組内各ご住職・寺族・門信徒が相互に協力して、地域の教化活動の中で、連帯感を進めつつ、組を挙

胸のあたりに湧く春の水 暖かき春のうらはは詩を詠みし 真水のごとき故郷をおもふ うすしろき水晶のごとふる雨に みなれし御堂のけぎやかに立つ (神戸真宗連盟 報恩まつりレジュメ) (4ページへ続く)

真宗青年よSU ZUKAへ集合

8月19日から

来る八月十九日から二十日、三重県鈴鹿市鈴鹿サーキットで「89全国真宗青年の集い in SUZUKA」が開催されます。テーマは「道の途中で」。第一部は「共にあるいのちの輝き」講師小室等氏。第二部は「集う喜び」。第三部は「友から真入師。大会参加費は九、〇〇〇円。日程は十九日十二時から受付が始まり一時半から開会式、二十日十二時解散。

今大会の鈴鹿サーキットはカーレースで有名なところ、なにしろF1レースには二十万人が訪れ、スピードと爆音に酔いしれる。あなたもこの集いに参加して、スピード狂のふん囲気を味わえたら……。ゴーカートもあって楽しめる。申し込み方法は申し込み表に大会参加費をそえて、六月末日まで教務所に。くわしいことを知りたい方は教務所・高藤まで連絡下さい。パンフレットと申し込み書を送ります。